

# 腫瘍生物学 I

## 授業概要

消化器癌、小児悪性腫瘍における発癌、増殖、転移のメカニズムを細胞レベル、遺伝子レベルで説明できるようにする。また、分子標的療法の臨床的応用についても広く学ぶ。

## 担当教員

田島義証（主担当）	教授：消化器・総合外科学
石原俊治	准教授：内科学第二
福田誠司	准教授：小児科学
中山健太郎	講師：産科婦人科
竹谷 健	講師：輸血部

## 一般目標 general instructional objectives

1. 肝癌、胆道癌、膵癌、大腸癌における発癌や転移のメカニズムを理解する。
2. 小児悪性腫瘍における発癌や転移のメカニズムを理解する。
3. 卵巣腫瘍における発癌や転移のメカニズムを理解する。

## 行動目標 specific behavioral objectives

1. 膵胆管合流異常症における胆嚢癌、胆管癌の発生機序を説明できる。
2. 膵癌における分子標的療法について説明できる。
3. 胆道癌における発癌の遺伝子レベルでの説明ができる。
4. 小児悪性腫瘍における分子標的療法の臨床応用について説明できる。
5. 卵巣腫瘍における分子標的療法の臨床応用について説明できる。

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	大腸癌における染色体異常と遺伝子診断	石原俊治
2	大腸癌の集学的治療	〃
3	胆道癌における染色体異常と遺伝子診断	田島義証
4	胆道癌の集学的治療	〃
5	小児悪性腫瘍に対する分子標的療法	福田誠司
6	小児悪性腫瘍の治療	〃
7	卵巣癌における遺伝子診断	中山健太郎
8	卵巣癌に対する分子標的療法	〃
9	肝癌における遺伝子診断	石原俊治
10	肝炎ウイルスと発癌	〃
11	小児悪性腫瘍の診断	竹谷 健
12	小児悪性腫瘍における染色体異常	〃
13	膵癌に対する分子標的療法の現況	田島義証
14	膵胆管合流異常症における胆嚢癌、胆管癌の発生機序	〃
15	膵癌における染色体異常	〃